

講究録既刊總目次

(第一卷一第 六 卷)

第一卷

第一号 (昭. 19. 7. 15. 発行)

1. 佐藤 良一郎 : 抽取り検査に就ての二三の考察 1
2. 河田 龍夫 : 正規分布函数の一特性に就て 27

第二号 (昭. 19. 7. 31)

3. 河田 龍夫 : *Fourier* 解析と確率論 (I) 36
4. 増山 元三郎 : ツベルクリンカ価推定法に就て (I) 42

第三号 (昭. 19. 8. 15)

5. 増山 元三郎 : ツベルクリンカ価推定法に就て (II) 57
6. 坂 元平八 : 統計量の独立性と自由度の問題 65
7. 洲之内 源一郎 : *Fourier* 係数について (河原への書信より) 75

第四号 (昭. 19. 8. 31)

8. 佐藤 良一郎 : 統計的領域仮説検定の理論 (その一) 78
9. 河田 龍夫 : *Fourier* 解析と確率論 (II) 94
(特性函数と分布函数の *limits*)

第五号 (昭. 19. 9. 15)

10. 宇野 利雄 : ストカステック補尚法 100
11. 宇野 利雄 : 統計検定法に於ける資料の数について 106
12. 河田 龍夫 : 半平面に於ける解析函数 111

第六号 (昭. 19. 9. 15)

13. 河田 敬義 : 正規確率過程について 121

14.	佐藤 良一郎	： 統計的領域仮説検定の理論 (その二) 158
-----	--------	----------------------	-----------

第七号 (昭. 19. 10. 15)

15.	増山 元三郎	： 赤血球の抵抗力の分布 並に補体力価の推定法 180
16.	河田 龍夫	： <i>Fourier</i> 解析と確率論 (III) (特性函数と <i>Fourier</i> 級数) 187
17.	増山 元三郎	： 比色による溶血曲線の近似推定法 195

第八号 (昭. 19. 10. 31)

18.	佐藤 良一郎	： 統計的領域仮説検定の理論 (その三) 200
19.	坂元 平八	： "ストカステック" 補間法に関する <i>Kolmogoroff</i> の論文に就て (その一) 229

第九号 (昭. 19. 11. 15)

20.	坂元 平八	： 統計量の独立性に就て 243
-----	-------	--------------	-----------

第十号 (昭. 19. 11. 30)

21.	河田 龍夫	： 記号解析について 266
-----	-------	------------	-----------

第十一号 (昭. 19. 12. 15)

22.	佐藤 良一郎	： σ 分布及 χ^2 検定 294
-----	--------	----------------------------	-----------

第十二号 (昭. 19. 12. 31)

23.	佐藤 良一郎	： σ 分布及 χ^2 検定について (ついで) 322
24.	宮沢 光一	： 複合領域仮説検定について 336

第二卷

第一号 (昭. 21. 4. 1 発行)

1.	増山 元三郎	： 実験計画法に於ける缺測値推定法に就て 1
2.	小川 潤次郎	： 既約行列系の <i>Zerfallung</i> に就て 8

3. *Motosaburo Masuyama* :

*On the Degree of Freedom Associated
with the Sum of Squares* ... 13

4. 林 谷 宗 一 : 函数の歪度 18

第二号 (昭. 21. 4. 15)

1. 佐 藤 良 一 郎 : 投票選挙に関する問題の統計学的処理法について (20-) 26

2. 佐 藤 良 一 郎 : > (20-) 50

第三号 (昭. 21. 5. 1)

1. 奥 返 正 : *Fatou* の定理について 58

2. *Jatsuo Kawata* : *Representation of a function by the
Fourier-Stieltjes integral* 63

第四号 (昭. 21. 5. 15)

1. 国 沢 清 典 : *Mean concentration function* と *Quasi
mean concentration function. I.* ... 7

2. 宇 野 利 雄 : 不規則外力に依る強制振動 89

3. 松 下 嘉 米 男 : 二項定理の証明に対する一注意 93

第五号 (昭. 21. 6. 1)

1. 小 川 潤 次 郎 : 二次形式統計量の独立性に就て 98

2. 国 沢 清 典 : *Mean concentration function* と
*Quasi mean concentration func-
tion. II.* 112

3. 論 文 紹 介 : *Frederick V Waugh* 及 *Paul
S. Dwyer* : 逆行列の簡単な計算法 122

第六号 (昭. 21. 6. 15)

1. 国 沢 清 典 : *Mean concentration function* と *Quasi
mean concentration function. III.* 136

2. 河田 龍夫 : *Fourier* 解析と確率論(I)..... 146
3. 坂元 平八 : 変量分析法に於て取扱われる統計量の独立性と
自由度の判定法に就て..... 155
4. *Kyomori Kumisawa*: *On a Theorem Concerning the Sumo
of Positive Independent Random
Variables*..... 163

第七号 (昭. 21. 7. 1)

1. 河田 敬義 : 正規確率過程について 170
2. 河田 龍夫 : *Fourier* 解析と確率論(II)..... 180
3. 北川 敬男 : 大標本論の数学的基礎 192

第八号 (昭. 21. 7. 15)

1. 増山 元三郎 : 各部分級の数値が比例的でない場合の差の検定...206
2. 貞 返 正 : *Green's Funktion* と *Harmonic
measures* について 208
3. 論文紹介 : 「ミーゼス」の観測値の組分けに就て 212
4. 北川 敬男 : 大標本論の数学的基礎に就く(II) 224

第九号 (昭. 21. 8. 1)

1. 国沢 清典 : *Mean concentration function* と
Typical function. IV. 233
2. 論文紹介 : *Random Walks in the Presence of
Absorbing Barriers. The Annals of
the Mathematical Statistics.
Vol. XVI. No. 1. By M. Kac* 245

第十号 (昭. 21. 8. 15)

1. 論文紹介 : *On an extension of the Concept of
moment with applications to measures
of variability, general similarity,
and overlapping, Milton da Silva,*

Rodrigues State University of São
Pauls. 259

2. 論文紹介 : Sampling from changing population
by Reihold Base (Annals of
Math, stat. vol. 16) 271
3. 論文紹介 : Abraham Wald : Some Generaliza-
tion of the Theory of Cumulative
Sums of Random Variables Annals
of Math, Statistics, vol. 16. 277

第十一号 (昭. 21. 9. 1)

1. 佐藤 良一郎 : $k \times l$ 表の "Exact Treatment" 292
2. 論文紹介 : 劣調和数の極限について 301

第十二号 (昭. 21. 9.)

1. 坂元 平八 : 準備数量決定方法の統計的考察に就て
特に作業量と在庫量の関係に対する応
用例を中心として 312

第十三号

1. 増山 元三郎 : 指数分布での棄却限界 342
2. 成田 裕 : One Parameter に關する K -Dimen-
sional Sampling Inspection 344

第十四号

1. 北川 敏男 : 二回抜取検査方式に就て 348

第十五号

1. 成田 裕 : 標本検査の一方式 380
2. 成田 裕 : k 次元標本検査方式 386
3. 成田 裕 : k 次元検査方式の実例 389
4. 増山 元三郎 : 一つの賃金、一分布の型について 398
5. 河田 敬義 : 彷徨エルゴード定理について 400

第十六号

1. 河田 龍夫 : 独立確率変数の級数の収斂問題 418
2. 国沢 清典 : *Mean Concentration & Typical Functionity* 422
3. 小川 潤次郎 : *A. Wald の Sequential Test の基本公式に就いて* 430

第十七号

1. 林 知乙夫 : 相関ある chain 現象に就て
2. 林 知乙夫 : ある頻度曲線を二つの normal 頻度曲線の和にて近似することについて 457

第十八号

1. 増山 元三郎 : ペニシリンの検定公式 466
2. 小川 潤次郎 : *Poisson 分布に対する Sequential Test* 468

第十九号

1. 山内 二郎 : 矩形分布を持つ数個の独立変数の
函数値の分布 476

第二十, 二十一号

1. 論文 紹介
小川 潤次郎 : *A. Wald. Sequential Test of statistical Hypotheses. (The Annals of Mathematical Statistics, Vol. XVI, No. 2 - June 1945)* 475

第二十二号

1. 論文 紹介
田中 裕輔 : *A. Wald, Sequential method of Sampling for deciding between two Courses of Action. (Journal of the American Statistical Association, 1945, Vol. 5)* 569

第二十三, 二十四号

1. 論文 紹介
小川 潤次郎 : *A. Wald: Test 第二編. Sequential Test of a Simple or*

*composite Hypothesis Against
a set of Alternatives* 569

第三卷

第一・二号 (昭. 22. 4. 15)

1.	掛谷宗一	: 送抜問題	1
2.	掛谷宗一	: 制限連記投票	7
3.	掛谷宗一	: 輸送問題	17
4.	掛谷宗一	: 経済の基礎	23
5.	掛谷宗一	: 人生数学	26
6.	林知己夫	: 力ある懐しさ	28

第三号 (昭. 22. 5. 1)

7.	増山元三郎	: ペニシリン検定公式 (II)	
8.	魚返正	: <i>Generalized Capacity と Transfinite Diameter</i>	36
9.	国沢清典	: <i>Mean Centration Function と Typical Function (VI)</i>	43

第四号 (昭. 22. 5. 15)

10.	増山元三郎	: 重層法に依る抗菌性物質価値 推定法の基礎公式	48
11.	魚返正	: 円内有限正則函数の極限値の 存在について	52
12.	丸山儀四郎	: 正規確率過程の積分表示	55

第五号 (昭. 22. 6. 1)

13.	林知己夫	: これくていふ序説 (I)	62
-----	------	----------------	----

第六号 (昭. 22. 6. 15)

14. 眞 返 正 : Laplace-Stieltjes integral の
abscissa of convergence について 91
15. 林 知 乙 夫 : Neumann の遊戯論 概見 95

第七号 (昭. 22. 7. 1)

16. 増 山 元 三 郎 : 抗菌性物質血中濃度の時間的
変化と最高濃度の推定 119
17. 小 川 潤 次 郎 : 最小自來法に関する Markoff の定理 121
18. 増 山 元 三 郎 : 重層法微量絶対測定用公式 123

第八号

19. 増 山 元 三 郎 : 共変線上の一組の実測値が攸突
を推定する一問題— ペアソン最小
有効濃度推定に就て 129
20. Deming 博士より小川所員への書簡 133
21. The Annals of Mathematical Statistics の
referee の報告 135
22. Junjiro Ogawa : On the Independence of
Statistics of Quadratic
Forms 137

第九号 (昭. 22. 8. 1)

23. 小 川 潤 次 郎 : 最小自來法に関する Markoff の
定理を繞つて 152
24. 二 見 隆 : 算術平均と幾何平均と調和平均 164

第十. 十一号 (昭. 22. 9. 15)

25. 伊 藤 清 : 報 知 高 170
26. 白 石 一 誠 : Riccati の微分方程式の簡易
解法に関する注意 183
27. 白 石 一 誠 : 統計真門の教育について Cochran
博士の講演要旨紹介 191

28. Hotelling 教授より小川所へへの書簡 May 30, 1947. 205

第十二号 (昭. 22. 10. 1)

29. 奥 返 正 : Weierstrass の定理に関する一注意 205
30. 増 山 元三郎 : 減衰振動の静止点の一推定法 208
31. 増 山 元三郎 : 所得の分布について 211
32. 奥 返 正 : 函数の Iteration と *Janus* 上の
微分方程式 212

第十三. 十四号 (昭. 22. 11. 1)

33. 増 山 元三郎 : "所得の分布について" 12号追記 224
34. 増 山 元三郎 : 母数の最大解が算術平均に於る場合 225
35. 鍋 島 一 郎 : 単位円内有限正則函数の零点と角微係数に就いて 226
36. 森 口 繁 一 : 偶然量の系列の階差の自己相関について 239
37. 二 見 隆 二 : 本社に於ける女子社員勤続年数の統計 242
38. 二 見 隆 : 送込成績と確定成績 248
39. 小 川 潤次郎 : 或る Order Statistic の内題について 256

第十五号 (昭. 22. 11. 1)

42. W.E. Deming : Allocation in Stratified
sampling 286

第十六号 (昭. 22. 11. 15)

40. 高 金 地 : 変量分析法に依る物価指数の解体 263
41. 水 野 坦 : 或る調査法について 280

第十七. 十八号 (昭. 22. 12. 15)

43. 松 下 嘉米男 : 一般統計推論について 327

第十九. 二十号 (昭. 23. 1. 15)

44. 増 山 元三郎 : 血糖曲線について 363

45.	増山 元三郎	: 癒着のない場合の気胸曲線について.....	365
46.	伊藤 鄭爾	: 建築物対用年限	367
第二十一、二十二号 (昭23.2.15)			
47.	小川 潤次郎	: 正規帰帰の理論及びその応用に就て	374
第二十三、二十四号 (昭23.2.15)			
48.	石田 望	: 層化標本法の効用の限界について.....	397
49.	成田 裕	: 紡績原論に於ける二三の問題.....	406

第四卷

第一号 (昭、23.4.1)

1.	小川 潤次郎	: 正規母集団に於ける一次形式二次形式及び双一次形式統計量の間の独立性に關して	1
----	--------	---	---

第二号 (昭、23.5.1)

2.	遠藤 健児	: 相関と利用する推定法	41
3.	丸山 儀四郎 小野山 卓爾	: 或る <i>Random Sequence</i> に就いて.....	71
4.	鍋島 一郎	: 多葉函数に就いて	75
5.	大田 章	: 規模別に分けた階層に対する有効で簡単な標本割当数に就いて	82
6.	増山 元三郎	: 連続記録からの読取りについての一つの注意	85
7.	鍋島 一郎	: 単葉円に就いて	90
8.	鍋島 一郎	: 劣調和函数に就いて	96

第三号

9.	工藤 弘吉	: 検定力函数について.....	103
----	-------	------------------	-----

10.	工藤 弘吉	検定力函数と仮説の分離度	146
11.	門山 允	有限母集団での仮説検定	153
第四号 (昭. 23. 7. 1)			
12.	山内 二郎	有限次元高次多項式密度函数を持つ 量の和の分析	157
13.	鍋島 一郎	単位円内有限正則函数の零点と角散 係数に就いて (続)	176
第五号 (昭. 23. 8. 1)			
14.		数理統計学文献目録	187
第六号 (昭. 23. 9. 1)			
15.		数理統計学文献目録	238
第七号 (昭. 23. 10. 1)			
16.		数理統計学文献目録	279
第八号 (昭. 23. 11. 1)			
17.		数理統計学文献目録	321
第九号 (昭. 23. 12. 1)			
18.	内山 亮	$E\left(\frac{X}{Y}\right) = \frac{E X}{E Y}$ となるための一つの充分条件	367
19.	貞 返 正	或種の確立変数列について	379
20.	鍋谷 清治	重相関係数の標本分布について	381
21.	遠藤 健児	線型回帰推定値のための層化法に 関する注意	396
第十号 (昭. 24. 1. 1)			
22.	鍋島 一郎	<i>Beschränktartig</i> な有理型函数 について	397
23.	林 知巳 夫 山 文 行	ある層化法に就いて	
24.	{ 水野 担 池田 熊 子 田 廣 雅 子	社会経済変量推定の一方法	412

第十一号 (昭、24. 2. 1)

25. 増山元三郎 : Zigzag 抽出法 421
26. 鍋島一郎 : 劣調和函数に就いて 425
27. 増山元三郎 : Markoff の最小自來法の一定理に
関する注意 430
28. 鍋島一郎 : 單葉数に就いて 433

第十二号 (昭、24. 3. 1)

29. 増山元三郎 : 全数調査に不応答群のある場合の
抽出法 454
30. 鍋谷清治 : Factor Analysis について 460

第五卷

第一号 (昭、24. 4. 1)

1. 小川潤次郎 : Markoff の定理について 1
2. 小川潤次郎 : 多次元分布の正規回帰論 9
3. 永野坦 : Sampling System について 17
4. 松下嘉米男 : Kollektiv 理論の基礎付け 28

第二号 (昭、24. 5. 1)

5. 小川潤次郎 : Non-central な正規分布に於ける
二次形式統計量の独立性 51
6. 増山元三郎 : 非心対数正規型の母数の推定法について 56
7. 増山元三郎 : duration Curve に現れる母数の
推定法 58
8. 菅原正巳 : 或る領地説の検定について 62

9.	増山元三郎	: Zigzag抽出法の抽出誤差について	75
10.	増山元三郎 園池洋子	: Zigzag抽出法の応用例	79
11.	増山元三郎	: 重層法に於ける基礎公式からの外れについて — 界面修正法	81
12.	増山元三郎	: 連続型分布で近似できる有限母集団で一半は全部他半は一部調査する場合の境目の推定法	85
13.	松下嘉米男	: 一般統計推論について(続)	88
14.	増山元三郎	: 棄却検定法に就ての一注意	96

第三号 (昭. 24. 6. 1)

15.	リテライシ調査にあらわれた分布の型など。 (平均と標準偏差との関係)	論文紹介 Ⅲ.	97
	P. C. Tang: <i>The power function of the analysis of variance test with table and illustrations of their use.</i> (<i>Statistical Research Memoirs</i> , Vol. II. (1938))		97
I.	なしかさ		97
II.	Sa^2 , Sn^2 の性質		105
III.	S_b^2 の分布		117
IV.	χ^2 分布の性質と変動係数(Coefficient of Variations)の平方の分布		119
V.	F^2 の分布と確率の積分		123
VI.	応用		
	註及参考文献		
16.	<i>Tables of the power Function of Analysis of variance Tests</i>		131
	<i>Direction for use of the tables.</i>		131

Example of application of (6):	133
The power function of the "t" tests:	134
Table I. table of $E_{0.01}^2$ and the corresponding values of $P_{II}, f_1 = 1$	136
Table I. table of $E_{0.01}^2$ and the corresponding values of $P_{II}, f_1 = 2$	137
" " " $P_{II}, f_1 = 3$	138
" " " $P_{II}, f_1 = 4$	139
" " " $P_{II}, f_1 = 5$	140
" " " $P_{II}, f_1 = 6$	141
" " " $P_{II}, f_1 = 7$	142
" " " $P_{II}, f_1 = 8$	143
Table II. table of $E_{0.05}^2$ and the corresponding values of $P_{II}, f_1 = 1$	144
" " " $P_{II}, f_1 = 2$	145
" " " $P_{II}, f_1 = 3$	146
" " " $P_{II}, f_1 = 4$	147
" " " $P_{II}, f_1 = 5$	148
" " " $P_{II}, f_1 = 6$	149
" " " $P_{II}, f_1 = 7$	150
" " " $P_{II}, f_1 = 8$	151

第四. 五号 (昭. 24. 8. 1)

- 17. 増山 元三郎 : 重層法の公法 — 他の数学的模型の場合 — 152
- 18. 林 知己夫 : サンプルに於ける母集団のある構成方法 156
- 19. 工藤 弘吉 : 母集団に於ける変換と一様推定値について 161

20. 遠藤健児 : *Regression Type* の推定値 207

第六七号 (昭. 24. 10. 1)

21. 工藤弘吉 : 函数方程式 $h(x)p(y) + g(x) + \gamma(y) = F(x+y)$ と *Koopman* 型分布 267

22. 宮沢光一 : 正規回帰の有意性検定について 282

23. 二見隆 : 四捨五入の誤差について 298

24. 工藤弘吉 : 函数方程式 $(X, \theta_1 + \theta_2) = F(F(x, \theta_1), \theta_2)$ について (I) 307

25. 岩村 聯 : 函数方程式 $(x, \theta_1 + \theta_2) = F(F(x, \theta_1), \theta_2)$ について (II) 312

26. 石田正次 : 火災危険率の予測
(リグレーション イスティメイトについての - 注意) 319

27. 小西勇雄 :

$$p(x, y) = \frac{1}{2\pi\sigma_1\sigma_2\sqrt{1-p^2}} \exp\left\{\frac{1}{2(1-p^2)}\left\{\frac{(x-a)^2}{\sigma_1^2} - \frac{2p(x-a)(y-b)}{\sigma_1\sigma_2} + \frac{(y-b)^2}{\sigma_2^2}\right\}\right\}$$

に關する仮設 $a-b=\theta$, の検定及 $a-b$ の区間

推定法について 322

28.

{	林	知	己	夫	リテラシー調査にあらわれた分布の型など [平均と標準偏差との關係] 328
	丸	山	文	行	
	石	田	正	次	
	西	平	喜	重	

29. 林 知己夫 : 観測々定値の確率変数と考えられる場合の *Sampling* について 335

第八号

30. 高野金作 : 分布函数に關する若干の考察 342

31. 西平重喜 : 市場調査の一例 351

第九号

32. 水野 垣 : 或る不等式に就いて (一)

			(<i>Sample mean</i> の為の <i>Confidence Interval</i>)	376
33.	水野 坦	：	或る不等式の群について (=) (<i>Sample mean</i> の為の <i>Confidence Interval</i>)	386
34.	崎野 滋 樹	：	体温の周期性並に体温と体質との 関係について	394

第十号 (昭. 25. 1)

35.	菅原 正 己	：	観測値の一部が使えない場合の推 定について	406
36.	高野 金 作	：	分布函数の <i>class convergence</i> について	416
37.	水野 浅 治 橋 元 村 等	：	奇字量について. I	423
38. 39.		鍋 谷 清 治	：	指数分布と <i>Poisson</i> 分布との関係
			総合研究発表会(アブストラクト).....	436

第十一号

40.	高野 金 作	：	条件附確率に関する一注意	447
41.	樋口 伊佐夫	：	<i>Rank Correlation Method</i> の解説	450

第十二号

42.	池田 豊 治	：	標本抽出法に関する一考察	479
43.	青山 博次郎	：	標本分布のある性質について	484
44.	青山 博次郎	：	観測値の組分けについて	491
45.	橋 元 浅 治	：	数量化の或る問題について	497
46.	竹之内 修	：	条件附確率について	503
47.	池田 豊 治	：	多変数正規母集団における不 等式について	519
48.	菅原 正 己	：	訂正と補遺	523

第六卷

第一・二・三号 (昭. 25. 4.)

1. 林 知己夫 : 統計数理的数量化の問題
—— 定性的(質的)なるものの
数量化に就ての覚書 —— 1

第四号 (昭. 25. 7)

2. 林 知己夫 : 「ない」事を知るサンプリングの一察
サンプリングの問題に於てある標識
が母集団に皆無であるという事を知
り得る可能性について 146
3. 林 知己夫 : 適合度の検定と χ^2 検定 152
4. 林 知己夫 : 分散の推定とサンプリングの精度 161
- 石田 正次
5. 石田 正次 : ある層化法について 172

第五号 (昭. 25. 8)

6. 小川 潤次郎 : 林の *Normality Test* に就て 180
7. 小川 潤次郎 : *Order Statistics* を利用した
平均値と標準偏差の推定値につ
いて (その一) 186
8. 小川 潤次郎 : 実験データの棄却に就て 205
9. 小川 潤次郎 : *Compound Normal Population*
の標本平均の分布 214
10. 菅原 正己 : *Cauchy* 分布からの任意標本例 216

第六号 (昭. 25. 9)

11. 小川 潤次郎 : *Dosage Mortality Curve and*
Systematic Statistics 217
12. 逸見 伝三郎 : 卵形線に交わる直線に就て 229
13. 淡中 忠郎 : 標準偏差の推定値について 233
14. 青山 煇次郎 : *Sampling* に於ける一問題 240

15. 青 山 博次郎 : 二回抽出法について 247

16. 宮 沢 光 一 : *Sequential decision Problem*
に於ける *Bayes solution* について

第七号 (昭. 25. 10)

17. 高 島 乙千雄 : 確立論に於ける線型的方法 (I)
(*random function* について) 283

第八号 (昭. 25. 11)

17. 高 島 乙千雄 : 確立論に於ける線型的方法 (II)
(*random function* について) 325

第九号 (昭. 25. 12)

18. 植 口 伊佐夫 : 或る *Discrimination* について
(普通の最小二乗法が使えない場合
の一例) 374

19. 山 本 純 恭 : *Optimum* と *Critical region*
に就いて 396

20. 高 野 金 作 : *A. S. Berry* の論文に関する注意 408

21. 高 野 金 作 : 能率問題について 416

第十号 (昭. 26. 1)

22.

{	小 川 潤次郎	: <i>Sheppard</i> の補正について 424
	中 山 節 夫	
	塩 谷 実	

23. 小 川 潤次郎 : 系統々計量 (*Systematic Statistics*) の理論及びその
応用 439

第十一号 (昭. 26. 2)

24. 林 知 三 夫 : 統計物理的數量化の問題補遺
(講究録 第六卷 第1, 2, 3号参照) 481

25. 林 知己夫 : 推定された二直線の交点の
信頼性について 523
26. 林 知己夫 : 小川氏の「林の Normality
Test に就て」に就て 532

第十二号

27. 橋 爪 浅 治 : 実験的研究に於ける有効な計画 535

あ と が き

本目次を編集するに当り、当研究所に於ける
バックナンバーの誤号を心よく貸与くだされ
又種々御便宜をはかってくださった、佐藤良
一郎、河田龍夫、小川潤次郎の諸先生方に対
し、厚く御礼申し上げます。

(編集 : 塩原由郎)

第十三号 (昭. 20. 1. 15)

25. 伊藤 清 : *student* 検定法に就て 361
26. 伊藤 清 : 標準偏差に関する最良検定法 377
27. 小河原 正 己 : 信頼限界について 384

第十四号 (昭. 20. 1. 31)

28. 小河原 正 己 : 信頼限界に依る百分率の差の
略式検定法 1
29. 二見 隆 : 四捨五入の誤差に就て 29
30. 角谷 静夫 : ブラウン運動に就て II 34

第十五号 (昭. 21. 3. 31)

31. 佐藤 良一郎 : σ 分布及び χ^2 検定に就て (ついで) 1
32. 増山 元三郎 : 平法和の自由度に就て 16
33. 小川 潤次郎 : 坂元氏の補助定理の代数的証明 25